SONY®

4-658-412-**01**(1)

CD-RW/DVD-ROM ドライブ

セットアップ説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機ご使用前に必ずお読みください。

PC Card Interface

セットアップ操作の流れ

ご使用のWindowsのバージョンによってセットアップの操作手順が異なります。

- Windows 98 Second Edition（Windows 98 SE）
- Windows Millennium Edition（Windows Me）

1 4ページ～

PCカードのドライバーをインストールする

Windows 98 SE、Windows Meの場合

2 9ページ～

接続する

- Windows 2000 Professional（Windows 2000）

1 9ページ～

接続する

2 6ページ～

PCカードのドライバーをインストールする

Windows 2000の場合

3 12ページ

セットアップを確認する

セットアップが終了すれば、本ドライブでCD-ROMディスクやDVD-ROMディスクの内容を読み出すことができるようになります。

4

ライターソフトウェア、DVDビデオ再生ソフトウェアをインストールする

CD-R/RWディスクにデータを書き込むには、ライターソフトウェアをインストールする必要があります。また、DVDビデオを見るには、DVDビデオ再生ソフトウェアをインストールする必要があります。付属のソフトウェアCD-ROMを使用して、これらのソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェアの操作方法については、各ソフトウェアのヘルプや電子マニュアルをご覧ください。

目次

PCカードのドライバーをインストールする

Windows 98 SE、Windows Meの場合

重要

ここでは、まだPCカードをカードスロットに挿入しないでください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れる。

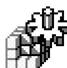
メモ

付属のソフトウェアCD-ROMは、本ドライブ以外の、コンピューターの内蔵または外付けのCD-ROMドライブに入れてください。ご使用のコンピューターで使用できるCD-ROMドライブがない場合は、インターネットの下記のホームページからセットアップファイル一式をダウンロードできます。詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/CRX85A

2 ［マイコンピュータ］ - （CD-ROMドライブ）-「english」フォルダ -「pccard」フォルダ -「WIN9X」フォルダの順に開き、「DDSETUP.EXE」をダブルクリックする。

メモ

ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに入れたあと、自動的に「Launcher」画面が表示された場合は、［Exit］をクリックして画面を閉じてください。そのあと、 を右クリックして表示されるメニューから［開く］をクリックすると、ソフトウェアCD-ROMの内容が表示されます。



このアイコンをダブルクリック

DDSETUP.EXE

「デバイスドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されます。



3 ［インストール］を選択し、［OK］をクリックする。

PCカードドライバーの一覧が表示されます。



4 ［CBIDE2 CardBus Mode］を選択する。

16 bitモードの場合は、［CBIDE2 16Bit Mode］を選択します。

メモ

CardBusモード

32ビットデータバスにより、データを高速に転送することができます。Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000プリインストールモデルのコンピューターは、ほとんどの場合CardBusモードに対応していますので、このモードで使用することをお勧めします。

16 bitモード

コンピューターがCardBusモードに対応していない場合は、このモードで使用します。なお、CardBusモードに対応しているコンピューターでも、16 bitモードで使用することができます。

5 ［OK］をクリックする。

インストールが始まります。しばらくすると次のメッセージが表示されます。



6 ［OK］をクリックする。

これでPCカードドライバーのインストールは終了です。

このあとは

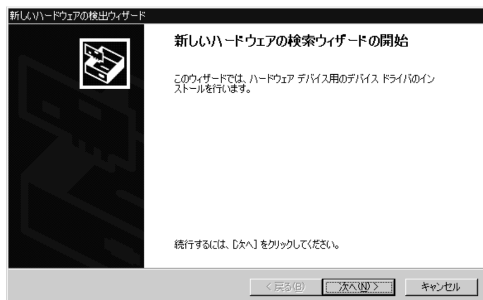
「接続する」（9ページ）の説明に従って操作してください。

次のページにつづく

Windows 2000の場合

ご注意

まだ本ドライブをコンピューターに接続していない場合は、先に「接続する」（9ページ）の説明に従って本ドライブをコンピューターに接続してください。接続の手順の最後でPCカードをコンピューターに挿入して「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、このページに戻り、下記の手順に従って操作してください。

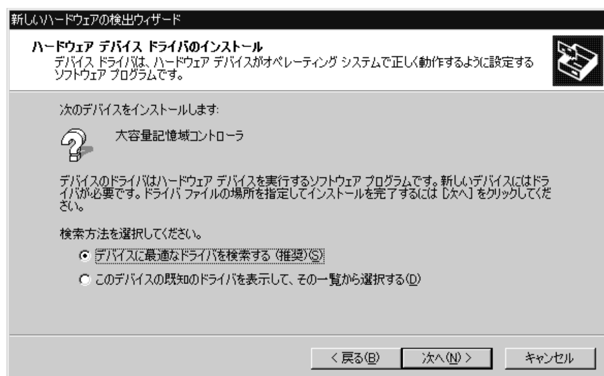


1 付属のソフトウェアCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れる。

メモ

ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに入れたあと、自動的に「Launcher」画面が表示された場合は、［Exit］をクリックして画面を閉じてください。

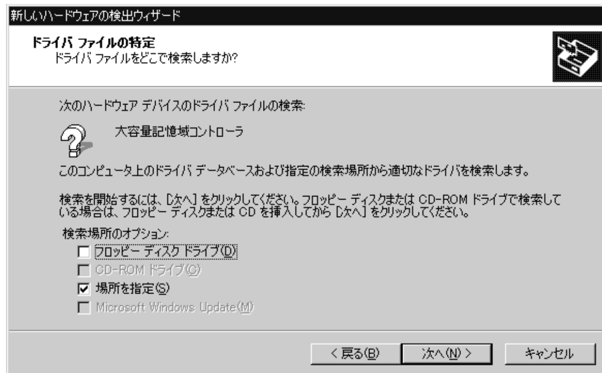
2 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリックし、表示された画面で［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択する。



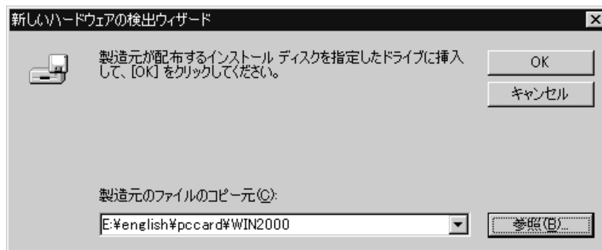
メモ

画面例は、PCカードをCardBusモードに設定した場合です。PCカードを16bitモードに設定した場合は、デバイス名として「IO_DATA CBIDE2_」が表示されます。

3 **[次へ] をクリックし、表示された画面で [場所を指定] チェックボックスをオンにし、それ以外のチェックボックスはすべてオフにする。**



4 **[次へ] をクリックし、表示された画面で「E:¥english¥pccard¥WIN2000」(EはCD-ROMドライブのドライブ名) と入力する。**



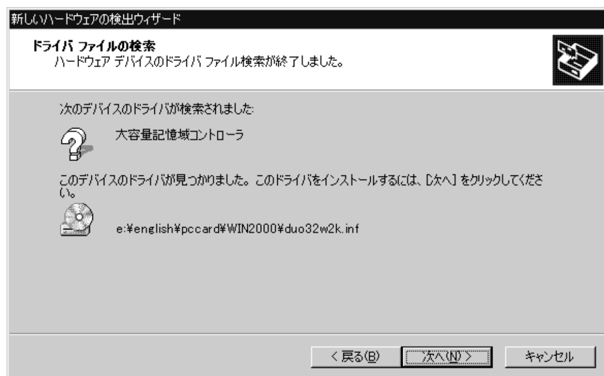
メモ

- 検索場所を入力せずに一覧から選択することもできます。[参照] ボタンをクリックし、表示された「フォルダの場所」ダイアログボックスで、CD-ROMドライブ -「english」フォルダ -「pccard」フォルダ -「WIN2000」フォルダの順にダブルクリックして開き、[開く] をクリックします。
- インターネットからセットアップファイルをダウンロードした場合は、ダウンロードした「WIN2000」フォルダの保存先のパスを指定してください。

次のページにつづく

5 [OK] をクリックする。

画面が次のように変わります。

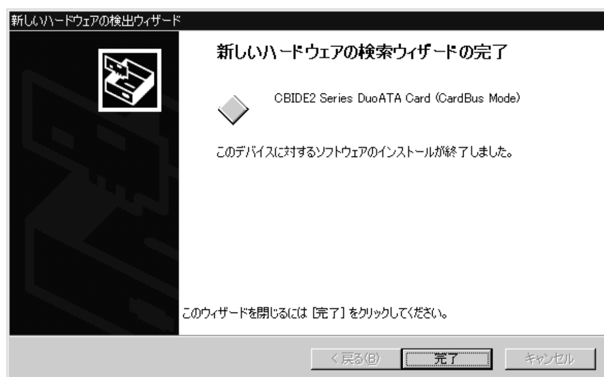


メモ

画面例は、PCカードをCardBusモードに設定した場合です。PCカードを16 bitモードに設定した場合は、デバイス名として「IO_DATA CBIDE2_」または「CBIDE2 Series DuoATA Card (16Bit Mode)」が表示され、ドライバ名として「e:¥english¥pccard¥win2000¥duo16w2k.inf」が表示されます。

6 [次へ] をクリックし、「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら [はい] をクリックする。

インストールが始まります。しばらくすると、次の画面が表示されます。



7 ［完了］をクリックし、ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

メモ

「コンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。コンピューターが再起動されます。

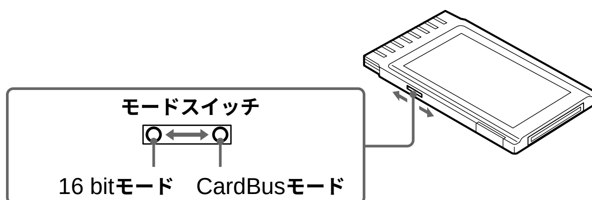
このあとは

「セットアップを確認する」（12ページ）の説明に従って操作してください。

接続する

PCカードを準備する

PCカードのモードスイッチがCardBusモードに設定されていることを確認します。
モードスイッチは、先が細くて硬いピンなどを使って切り替えてください。



CardBusモード

32ビットデータバスにより、データを高速に転送することができます。
Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000プリインストールモデルのコンピューターは、ほとんどの場合CardBusモードに対応していますので、このモードで使用することをお勧めします。

16 bitモード

コンピューターがCardBusモードに対応していない場合は、このモードで使用します。なお、CardBusモードに対応しているコンピューターでも、16 bitモードで使用することができます。

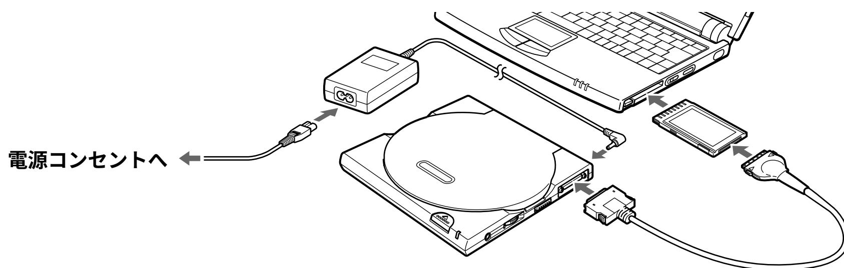
次のページにつづく

接続する

Windows 2000の場合は

PCカードドライバー（付属のソフトウェアCD-ROMに収録）のインストールには、本ドライブ以外の、コンピューターの内蔵または外付けのCD-ROMドライブを使用します。使用できるCD-ROMドライブがない場合は、本ドライブをコンピューターに接続する前に、セットアップファイル一式をインターネットの下記のホームページからダウンロードしておいてください。詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/CRX85A

1 **本ドライブの電源スイッチがオフになっていることを確認し、下図のように、PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプター、電源コードを接続する。**

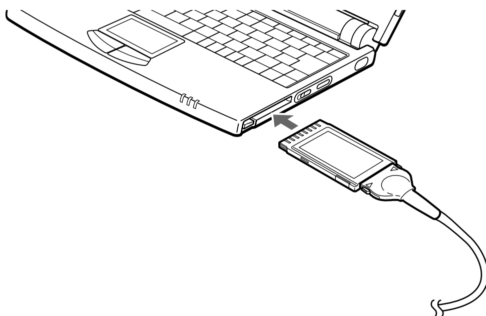


ご注意

PCカードは、まだコンピューターに挿入しないでください。

2 **本ドライブの電源スイッチをON側にスライドする。**

3　PCカードをコンピューターに挿入する。

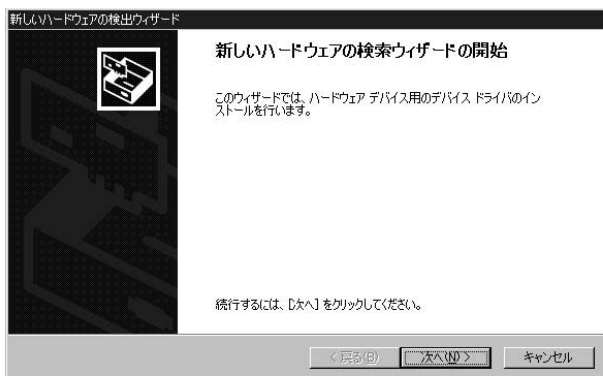


メモ

PCカードは、コンピューターの電源がオンでもオフでも挿入できます。

4　コンピューターの電源がオフになっている場合は、電源を入れる。

本ドライブが接続されていることがコンピューターに認識されます。
Windows 2000の場合は、「新しいハードウェアが見つかりました」というメッセージが表示されたあと、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。



このあとは

- Windows 98 SEまたはWindows Meの場合は、「セットアップを確認する」（12ページ）の説明に従って操作してください。
- Windows 2000の場合は、「PCカードのドライバーをインストールする」（6ページ）の説明に従って操作してください。

次のページにつづく

セットアップを確認する

本ドライブのセットアップが正しく行われているかどうかを確認します。

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリックする。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 「マイコンピュータ」ウィンドウに（CD-ROM**ドライブのアイコン）が追加されていることを確認する。**

が追加されていれば、セットアップは正しく行われています。

メモ

が追加されていない場合は、このあとの「本ドライブがコンピューターに認識されない場合には」をご覧ください。

本ドライブがコンピューターに認識されない場合には

本ドライブがコンピューターに認識されない場合は、次のように対処してください。

- 本ドライブの電源が入っているかどうかを確認してください。本ドライブの電源が入っていない場合はPCカードをいったん抜き、「接続する」（10ページ）の手順に従って接続し直してください。
- PCカードのモードスイッチが、ご使用の動作モードに合わせて正しく設定されていない可能性があります。「PCカードを準備する」（9ページ）をご覧ください。
- PCカードや本ドライブ、コンピューターの接続が正しく行われていない可能性があります。「接続する」（10ページ）の手順に従って接続し直してください。
- 本ドライブとコンピューターの電源を正しい順序で入れていない可能性があります。「接続する」（10ページ）の手順に従って接続し直してください。

- PCカードスロットへの電源が供給されていない可能性があります。コンピューターのセットアップやパワーセーブ機能の設定を確認してください。また、コンピューターのオートパワーダウン機能などは動作しないように設定してください。ご使用のコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- PCカードドライバーのインストールが正常に終了していない可能性があります。このあとの「PCカードドライバーをアンインストールするには」の手順に従って操作したあと、「セットアップ操作の流れ」（4ページ）に従ってセットアップし直してください。

PCカードドライバーをアンインストールするには

インストールしたPCカードドライバーをアンインストール（削除）する方法を説明します。PCカードや本ドライブが正常に認識されないときや、動作がおかしいときは、PCカードドライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールし直してください。

Windows 98 SE、Windows Meの場合

PCカードをPCカードスロットから取り外したあと、付属のソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、［マイコンピュータ］-（CD-ROMドライブ）-「english」フォルダ -「pccard」フォルダ -「WIN9X」フォルダの順に開き、「DDSETUP.EXE」をダブルクリックして実行します。「デバイスドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されたら、［アンインストール］を選択して画面の指示に従って操作してください。

メモ

- PCカードの取り外しかたは、「取扱説明書」の「PCカードを取り外す」を参照してください。
- 付属のソフトウェアCD-ROMは、本ドライブ以外の、コンピューターの内蔵または外付けのCD-ROMドライブに入れてください。ご使用のコンピューターで使用できるCD-ROMドライブがない場合は、インターネットの下記のホームページからセットアップファイル一式をダウンロードできます。
  なお、PCカードドライバーのインストール時にダウンロードしてある場合は、新たにダウンロードする必要はありません。
  詳細については、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/CRX85A
- Windowsを再起動するかどうか確認するメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブからソフトウェアCD-ROMを取り出して、[はい]をクリックしてください。

Windows 2000の場合

重要

Windows 2000でPCカードドライバーのアンインストールを行うには、管理者またはAdministratorグループのメンバーとしてログオンする必要があります。

本ドライブをコンピューターに接続し、「コントロールパネル」ウィンドウで[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックし、表示される「ハードウェアの追加と削除ウィザード」の指示に従って操作します。「このコンピューターにインストールされているデバイス」画面が表示されたら、「CBIDE2 Series DuoATA Card (CardBus Mode) 」デバイスを選択してください。

メモ

- 本ドライブの接続方法は、「接続する」(10ページ)をご覧ください。
- 「コントロールパネル」ウィンドウを表示させるには、[スタート]ボタンをクリックして[設定]にマウスカーソルを合わせ、[コントロールパネル]をクリックします。
- 「ハードウェアに関する作業の選択」画面では、[デバイスの削除/取り外し]を選択します。
- 「削除操作の選択」画面では、[デバイスの削除]を選択します。
- PCカードを16 bitモードに設定した場合は、「CBIDE2 Series DuoATACard (16Bit Mode) 」デバイスを選択して削除してください。

システムリカバリ（Windowsの再インストール）について

CD-ROMドライブが内蔵されていないコンピューターの場合、本ドライブとシステムリカバリ用CD-ROMディスクを使用したシステムのリカバリは、次のように行います。

- 本ドライブのPCカードドライバーが組み込まれている起動用フロッピーディスクを作成する。
- 本ドライブにシステムリカバリCD-ROMディスクをセットし、作成した起動用フロッピーディスクでコンピューターを起動してリカバリの操作を行う。

ご注意

Windows 2000プリインストールモデルのコンピューターの場合は、本ドライブを使用してWindows 2000の再インストールを行うことはできません。また、本ドライブを使用してシステムリカバリができないコンピューターもあります。詳しい情報については、インターネット上のユーザーサポートホームページをご覧ください（ユーザーサポートホームページのアドレスは、「取扱説明書」の「製品サポートのご案内」に記載しています）。

重要

CD-ROMドライブが内蔵されていないコンピューターをお使いの場合、本ドライブをコンピューターに認識させせることのできる起動用フロッピーディスクを作成しておかないと、Windowsが起動できなくなったときにリカバリすることができません。コンピューターが正常に動作しているときに起動用フロッピーディスクを作成することをお勧めします。

次のページにつづく

起動用フロッピーディスクを作成する

起動用フロッピーディスクを作成するには、次の2つの方法があります。

- 本ドライブに付属のソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「Stuputil.exe」を使用する（「Stuputil.exe」は、本ドライブのPCカードドライバーが組み込まれた起動用フロッピーディスクを作成することができるユーティリティです。操作方法は、「ユーティリティが対応しているコンピューターの場合」をご覧ください）。
- お使いのコンピューターに応じた起動用フロッピーディスクを作成し、本ドライブがコンピューターに認識されるように変更を加える（操作方法は、「ユーティリティが対応していないコンピューターの場合」をご覧ください）。

メモ

付属のユーティリティ「Stuputil.exe」は、ソニー製ノートパソコン「VAIOノート」シリーズの一部機種、および他社製の一部のノートパソコンに対応しています。
「Stuputil.exe」が対応しているコンピューターの機種名の一覧、およびシステムリカバリに関する詳しい情報については、インターネット上のユーザーサポートホームページをご覧ください（ユーザーサポートホームページのアドレスは、「取扱説明書」の「製品サポートのご案内」に記載しています）。

ユーティリティが対応しているコンピューターの場合

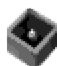
ここでは、付属のユーティリティ「Stuputil.exe」を使って起動用フロッピーディスクを作成する方法を説明します。

1 付属のソフトウェアCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れる。
CD-ROMドライブは、本ドライブ、コンピューターの内蔵または外付けドライブのいずれでもかまいません。

2 ［マイコンピュータ］-（CD-ROMドライブ）-「japanese」フォルダ -「pccard」フォルダの順に開き、「Stuputil.exe」をダブルクリックする。

メモ

ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに入れたあと、自動的に「Launcher」画面が表示された場合は、［Exit］をクリックして画面を閉じてください。そのあと、を右クリックして表示されるメニューから［開く］をクリックすると、ソフトウェアCD-ROMの内容が表示されます。



このアイコンをダブルクリック

Stuputil.exe

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。



3 ［次へ］をクリックし、表示された「PCの選択」ダイアログボックスでご使用のコンピューターを選択する。



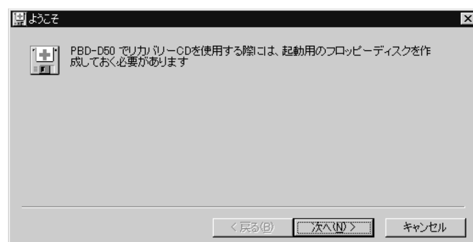
次のページにつづく

4 ［次へ］をクリックし、表示されたダイアログボックスで、［VAIOノート起動ディスク作成ユーティリティを起動します。］チェックボックスがオンになっていることを確認する。

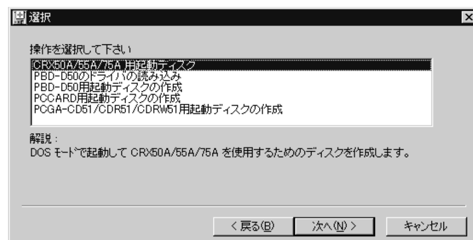


5 ［完了］をクリックする。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。



6 ［次へ］をクリックし、表示された「選択」ダイアログボックスで「CRX50A/55A/75A用起動ディスク」を選択する。

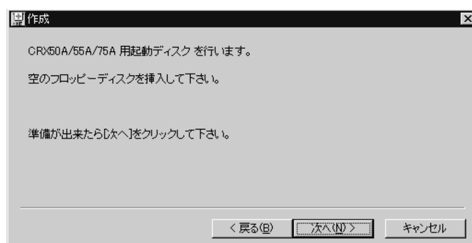


メモ

本ドライブをご使用の場合も、「CRX50A/55A/75A用起動ディスク」を選択します。

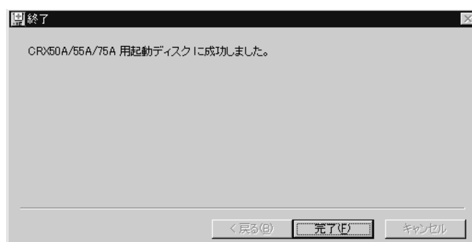
7 ［次へ］をクリックする。

「作成」ダイアログボックスが表示されます。



8 CD-ROMドライブからソフトウェアCD-ROMを取り出し、空のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、［次へ］をクリックする。

起動用フロッピーディスクの作成が開始されます。数分後、起動用フロッピーディスクが作成され、「終了」ダイアログボックスが表示されます。



9 ［完了］をクリックする。

次のページにつづく

ユーティリティが対応していないコンピューターの場合

ここでは、付属のユーティリティが対応していないコンピューターで、本ドライブのPCカードドライバーが組み込まれた起動用フロッピーディスクを作成する方法を説明します。

1 **使用しているコンピューターの起動用フロッピーディスクを作成する。**

詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

2 **作成した起動用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、起動用フロッピーディスクの中の「config.sys」ファイルを、テキストエディタ（「メモ帳」など）で開く。**

3 **「config.sys」ファイルの先頭に次の2行を挿入し、上書き保存する。**

```
DEVICE=¥DUOATA16.SYS
DEVICE=¥DUOATACD.SYS /D:CDROM001
```

4 **起動用フロッピーディスクの中の「autoexec.bat」ファイルを、テキストエディタで開く。**

5 **「autoexec.bat」ファイルの先頭に次の1行を追加し、上書き保存する。**

```
MSCDEX /D:CDROM001 /L:G
```

重要

上記のように入力すると、本ドライブが［G:］ドライブとして設定されます。コンピューターの［G:］ドライブが、すでにハードディスクやその他の周辺機器に割り当てられている場合は、「G」をほかの文字にして入力してください。なお、一般的なノートパソコンでは、「A」から「F」までは何らかの機器に割り当てられていることが多いので、「A」から「F」以外の文字に変更することをお勧めします。

6 本ドライブに付属しているソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、ソフトウェアCD-ROMの¥english¥pccard¥Dosにある次の2つのファイルを、起動用フロッピーディスクのルートディレクトリにコピーする。

Duoatacd.sys
Duoata16.sys

システムをリカバリする

作成した起動用フロッピーディスクを使って、コンピューターのシステムをリカバリします。

1 コンピューターの電源を切ってから、本ドライブをコンピューターに接続する。

重要

PCカードのモードスイッチを16 bitモードに設定してから、PCカードをコンピューターに挿入してください。

2 コンピューターに付属されているリカバリ（Windows再インストール）用のCD-ROMディスクを本ドライブにセットする。

3 作成しておいた起動用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、コンピューターを再起動する。

コンピューターがDOSモードで起動します。

4 コンピューターが起動したら、システムリカバリのプログラムを実行する。

システムリカバリのプログラムを実行する方法は、ご使用のコンピューターにより異なります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

重要

システムリカバリを行ったあとで本ドライブを使用するためには、コンピューターにPCカードドライバーを再度インストールする必要があります。「PCカードのドライバーをインストールする」（4ページ）をご覧ください。

ご注意

PCカードのモードスイッチは、システムリカバリのときに16 bitモードに設定されています。CardBusモードで本ドライブを使用する場合は、PCカードのモードスイッチをCardBusモードにしてください。

本ドライブの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、「取扱説明書」の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージコール

TEL: 0475-58-0931

受付時間

月～金（祭日を除く）

10:00から18:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia

